



国民所得が低下する中で、

第一の転換は、4月の消費増税を中止すること。国民所得が低下する中で、消費増税を中止し、富裕層と大企業に能力に応じた負担を求める税制改革を求めました。

日本共産党の志位委員長は、経済の好循環をもたらす二つの転換を提起しました。

消費税8%引き上げ中止 富裕層と大企業に負担を



衆院本会議で代表質問する志位委員長：テレビ中継から

衆院本会議

対案示し、転換を迫る

「好循環」実現への二つの転換を提起：志位委員長が代表質問

働く人の賃上げをはかる



第二の転換は、働く人の「賃上げ」をはかることです。

志位氏は、経済の好循環を実現する力や「賃上げ」にあると首相も認めている中で、三つの賃上げ策を提起し、実行を求めました。

①内部留保の一部活用を経済界に正面から提起すること。

②最低賃金の抜本的引き上げと中小企業支援への財政出動をすること。

③派遣法の抜本改正、均等待遇のルール確立、ブラック企業規制などの雇用のルールを強化すること。

首相は「デフレ脱却と財政再建の両立は可能だ」と答弁し、増税中止を拒否。「賃上げ」については、「内部留保のあり方も含め、好循環につながる積極的対応を期待する」との答弁にとどまりました。

秘密保護法の廃止を

国民の目、耳、口を小さく希代の悪法、秘密保護法を強行した安倍内閣に、国民の批判が高まっています。

日本共産党は、議会内外でみなさんとスクラムを組んで、悪法阻止へ全力をあげました。今後、秘密保護法廃止へ力をつくします。

内部留保270兆円

大企業に減税、庶民は増税

【復興税】

東日本大震災からの復興の財源を確保する復興税。大企業には1年前倒しで廃止、一方個人へは継続。国民には25年間で8兆円の増税なのに対し、企業向けには毎年8千億円、25年間で20兆円の減税が恒久的に実行されます。

不公平でしょう！



そうだ！

消費税増税で8兆円の負担増

社会保障改悪で給付2兆円減

派遣の拡大

市議会は17日から始まる

国が消費税増税、福祉切り捨てをすすめる中で、住民のいのちとくらしを守る地方自治体の役割が問われています。

日本共産党市川市議団は、市川市がその役割を果たすことを求め、17日から始まる2月予算市議会で全力を尽くします。



安倍政権がわらう 『負担増・給付減』 のカレンダー

【2014年4月】

- 消費税8%への引き上げで約8兆円の国民負担増
- 年金支給額を1%削減
- 生活保護の生活扶助費2.5%削減
- 70歳になる人から医療費窓口負担を1割から2割に倍増

【6月】

- 住民税の復興増税スタート年1,000円、10年間負担が続く

【10月】

- 厚生年金保険料の引き上げ

【2015年4月】

- 軽自動車税(新車)を年7,200円から1万800円に値上げ
- 3年ごとの介護保険料の見直し
- 生活保護の生活扶助費削減

【10月】

- 消費税10%への引き上げ
(安倍首相はNHK番組で「今年中に決めたい」と表明)
- 厚生年金保険料の引き上げ

無料法律相談会

【相談日：担当弁護士】

- 3月7日(金) 島貫美穂子弁護士
- 4月3日(木) 白井幸男弁護士
- 5月2日(金) 高橋高子弁護士
- ※午後2時から5時

【場所】

市川市役所共産党控入室(4階)
相談を受けたい方は事前の予約が必要です。党市議か市役所(電話334-1111)共産党控室へご連絡ください。
※生活相談は、毎日受付しています。党市議に気軽に相談ください。

担当者に説明する中島・大山・今竹支部長、金子市議



日本共産党大柏・曾谷・宮久保支部は、市政アンケートで寄望を提出しました。せられた住民要望を調査し4日、市長に改善要望を提出しました。歩道の拡幅、カーブミラーの設置、信号機の設置など、33カ所です。

日本共産党大柏・曾谷・宮久保支部が 北東部地域の予算要望を市長に提出

当日は、道路交通部道路安全課長と担当職員が対応し、支部長から市に写真を見せて改善内容を説明しました。市は、「多岐にわたる要望なので、時間がかかりますが後日検討し回答する」と約束し

側溝・舗装 整備の実施へ

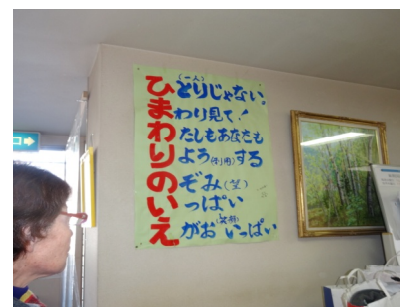


整備する道路(大野町)

大野町3丁目、大野地域小れあい館からみかど公園まで道路舗装と側溝整備が実施されることになりました。ここは側溝が機能しなため雨水が溜まり困っている場所で、昨年2月、地域の予算要望をしました。このほど、道路安全課長から「実施することになりました」と連絡があり、290mの区間が3月14日まで整備されます。



視察 党市議団、相馬市、仙台市 障害者施設、高齢対策で



日本共産党市議団4人は1月27日・28日、相馬市と仙台市を視察しました。相馬市では「一般財団法人・ひまわりの家」を視察。障害のある方や高齢の方が、自分の望む地域で利用者の人格を尊重し、自己決定権を基本に支援を行っています。利用者がイキイキしているのが印象的でした。仙台市では、災害弱者登録、社会福祉協議会の活動内容を担当者から詳しく伺いました。

編集後記

▼暦のうえでは春ですが、まだ寒さが続いています。お体にはご自愛ください▼税金の季節(2月17日)3月15日)でもあります。税の自主申告は国民の権利です。「年金くらいだから関係ない」と思っています。国保税や社会保険料、医療費も控除され、確定申告をすれば払い過ぎの税金を取り戻すこともできます。この権利を使い、税金の重い負担をはね返しましょう。▼予算市議会では、皆さんの声を届けます。

お気軽に
相談を

仕事
くらしの
悩み

連絡先 金子貞作 337-6184 (夜間)